

マンションの新設備＝ご意見を集約しながら、検討をすすめます＝ ～電気自動車(EV)充電設備の設置について～

政府は、電気自動車(EV)に対する購入補助金や充電インフラ整備事業を実施しています。当マンションもこの制度を利用して充電設備設置の検討を進めることにしました。一般的に理解が不十分な分野ですので、今後、メリット・デメリットなど十分に理解した上で検討・判断していくことが求められます。

政府の補助金とは？＝おおまかな内容

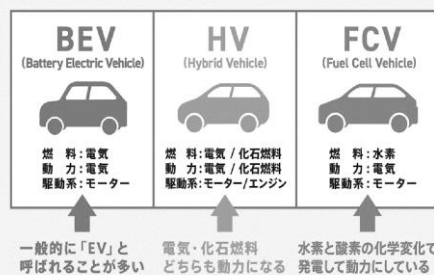
令和5年度の政府予算は約175億円です。補助率は、設置工事費(見積額)の 50～60%程度(予算枠により変動)です。実際は 80%の実質補助を受けたマンションもありました。工事費 500 万円として仮に 60%補助の場合、負担は 200 万円となります。

突然で、よく分からない」「もっと詳しく知りたい」などのご意見や疑問点などがあることでしょう。十分な理解がないと正しい判断ができません。そのため、内容を詳しく理解するための説明会等を実施していく予定です。

EV (Electric Vehicle) = 電動車両



電気を“動力”に変換して動く車



…EV普及の背景と今後…

日本では、「2035 年までに乗用車新車販売で電動車 100%」という目標の実現に向け、官民一体となって取り組んでいます。公共用充電スタンドについても 2030 年までに大幅に増強するという目標数が示されています。

電動化への動きが今後、加速することが予測されることから、日本の既存マンションにおいても電気自動車(EV)、プラグインハイブリット車(PHEV)に対応した充電設備(以下、充電設備という。)の導入は避けて通れないものといえます。

EV 充電器の購入・設置には、「充電インフラ補金」という国の補助金が使えます。充電器本体代の 50%、および設置費用の 100%が補助されます。

暮らしのメモ帳

いつも、決められた日時に、きちんと分別しゴミ出しをしていただき、ありがとうございます。
資源物は、種類によって再生方法や再生製品が違います。プラスチックとペットボトルを例に挙げますと、資源としてまったく違います。混ぜてしまうと分別されないゴミとしてただの燃やすゴミになってしまいます。

プラスチックの出し方は次の3通りになります。

- ①汚れないプラは、プラ資源
- ②おもちゃ、保存容器などの固いプラ容器は、不燃ゴミ
- ③マヨネーズ容器などの油汚れのある柔らかい容器は、可燃ゴミ



早朝からのご参加、ありがとうございました。

敷地内と周辺の清掃を行いました ～11.5 全市一斉清掃日～

5日(日)早朝 7 時から、全市一斉清掃作業が行われました。町内ご近所の方々のお姿もあちこちで見られました。主に敷地内のごみ拾い、緑地の除草作業などを短時間行いました。13 名の皆さんが参加されました。早朝からのご参加、ありがとうございました。

居住者皆様の少しずつのお力添え、支え合いが、暮らしやすい住まいの環境を維持しています。

